



8

月

Pick Up! 『運命を変えるチャンスはなぜか突然やって来る』今村翔吾/岩波書店/914.6 17 青少年

夢を叶えるにはどうしたらいいの? 回り道をしながらチャンスをつかんで作家になった今村翔吾が、夢を必ず叶える方法を具体的にアドバイス。本を読むことの楽しさ、本の世界の面白さについても語る。
夢を叶えるためにはチャンスを逃さないこと。チャンスを逃さないためにはどうすればいいのか。夢を叶えるために今からできることをはじめてみませんか。



『お年よりと絵本をひらく』

中村証子/福音館書店/019.5 14

大人もやっぱり絵本が好きだった! 高齢者デイサービス施設での絵本の読み聞かせ記録をまとめたブックガイド。お年よりならではの絵本の楽しみ方、選書のヒントを紹介。『Web 福音館』連載に加筆修正し書き下ろしを加える。

『古典の継承者たち』

L. D. レリス/筑摩書房/020.2 17 文庫

ギリシア語とラテン語の文献が保存されてきた過程の全体像を描き、写本が使われていた時代にテキストはどのような危険にさらされていたのか、古典のテキストはどのように保存されていたのかについて述べる。

『日本群島文明史』

小倉紀蔵/筑摩書房/121 14

アニマシズム、かみ、ことだま、性のアニマシー…。日本の基層にある「群島文明」こそが、この国の独自性を創出してきた。思想、宗教、文学など諸領域を博搜して描く斬新な日本文明全史。

『奪われた集中力』

ヨハン・ハリ/作品社/141.5 14

以前に比べて仕事も読書も集中できない。でも、スマホは片時も手放せない。私たちの集中力はただ失われたのではなく「奪われ」ていること、そして必要なのは社会全体で「取り戻す」取り組みであることを明らかにする。

『本を読む人はうまくいく』

長倉顕太/すばる舎/159 14

「なぜ、読書が大切なのか?」を徹底的に解説し、読書で人生を変える方法、読書によって長い人間関係をつくる方法、本の選び方、読書の活用法などを紹介する。人生が好転し、視野が広がる「オススメ本101冊」リスト付き。

『蜘蛛』

野村育世/講談社/210 14

清少納言も絶賛し、神仏のお使いとして崇められた存在は、いつから嫌われ者になったのか? 人と蜘蛛の不思議な関係を貴重な図版・史料とともに丁寧に考察。日本の伝統文化の中で、蜘蛛を見る目の変遷を探る。

『宍道湖のほとりから翔びたって』

三島俊介/とりい書房/289.1 14

PCもネットもない時代に起業し、「インテリアコーディネーター資格試験」の業界でナンバーワンを誇る会社に成長させた著者が、自身の半生を振り返りながら、その足跡と経営ノウハウを綴る。

『勲章の近代史』

刑部芳則/吉川弘文館/317.5 14

功績を讃えられた人が天皇から授与される勲章。その制度はいかに誕生し、運用されたのか。勲章が果たした役割を探り、叙勲をめぐる人間模様を描き出す。日本近代史に勲章を位置づけ、現在まで続く制度の意味を探る。

『若者はLINEに「。」をつけない』

高橋暁子/講談社/336.4 14

褒めたつもりが相手の感情を害してしまった、笑顔スタンプを嫌味と受け取られた…。主にビジネスパーソンに向けて、社内の人やクライアントとSNSで上手にコミュニケーションをとるコツを事例とともに紹介する。

『大切な家族を守る「おうち防災」』

奥村奈津美/辰巳出版/369.3 14

水害や地震といった災害に向けて備えるべきことを、最新情報や専門家の分析をもとに紹介。自宅を最強の避難所にする方法、非常持ち出し袋の作り方も解説する。

『天気のからくり』

坪木和久/新潮社/451 14

日本書紀から古代日本の台風被害を推測し、歌川広重の版画から雨粒の形に思いを馳せ、台風の謎を解明するためジェット機で突入する…。気象学の第一人者による発見に充ちた55講。『波』連載に書き下ろしを加え、加筆・修正。

『世界は進化に満ちている』

深野祐也/岩波書店/467.5 14

進化という現象は、ときに短期間で、しかも私たちのすぐそばで起こることがある。気鋭の進化学者が自身のエピソードや様々な事例を紹介しながら、進化論の魅力伝える。

『脂質起動』

山田悟/サンマーク出版/498.5 14

からだを何をエネルギー源にするかは、何を食べるかで変わる。快適で健康な心身を手に入れるために、最新のエビデンスに基づきながら、糖質を控えて脂質を増やし、脂質起動する重要性とその具体的な方法を伝える。

『マカベアリスの刺繍 Labo.』

マカベアリス/主婦と生活社/594.2 14

人気作家マカベアリスによる刺繍図案集。植物や鳥、アルファベットなどのモチーフを、図案の配置や色替えアレンジ、仕立て作品のアイデアとともに紹介する。実物大の図案も掲載。

『ときめく副菜』

平岡淳子/ナツメ社/596.3 14

切って和えるだけ、炒めるだけ。栄養バランスが整う副菜の作りおきレシピを野菜別、テーマ別に160品紹介。無駄なく食べ切るアイデアや調理のコツ、食卓シーン別副菜のある献立例も提案する。

『ひんやりスイーツ』

吉川文子/成美堂出版/596.6 14

ハンドミキサーやフードプロセッサーは使わず、加熱は電子レンジだけ!ゼリーやアイスなど、身近な食材を「まぜて冷やすだけ」で簡単に作れるスイーツのレシピを紹介。ソースやスムージーのレシピも掲載する。

『日本の食料安全保障とはなにか?』

深田萌絵/かや書房/611.3 14

日本の食料安全保障問題を論じた、YouTube番組『政経プラットフォーム』での深田萌絵と鈴木宣弘の対談を大幅に加筆して収録。現場で働く農家のリアルな事情や日本の現実についても語る。

『今と未来がわかる農業』

堀田和彦 [監修] /ナツメ社/612.1 14

日本の農業の現状と課題を示すとともに、新たな農業経営と就農の潮流、スマート農業の可能性、農業の6次産業化などについて、図表やイラストを用いてわかりやすく解説する。就農へのステップ、関連情報・注目事例も掲載。

『イノリノカタチ』

彬子女王/小学館/702.1 14

イノリノカタチを知ること、人々の心の源流を辿る旅でもある。三笠宮妃殿下との思い出、輪島の漆、五島列島に息づく信仰の力…。彬子女王殿下ならではの視点で人々の祈りの姿を綴った随筆集。『和楽』ほか掲載を書籍化。

『読み手に届く文章技術』

石黒圭/筑摩書房/816 14

書き手と読み手の「認識の共有」を意識すると文章がグンと伝わるようになる!日本語研究の第一人者が、一生モノの文章技術を、9つの観点から具体例とともに紹介する。

『本のなかの少女たち』

津島佑子/講談社/902 14 文庫

“少女”とはなにか。ギリシア神話からゲーテ、エミリー・ブロンテら欧米の文学作品、あるいは紫式部や樋口一葉、谷崎潤一郎らが描いた“少女”をとらえ直し、時代も国境も超越する生命力の輝きを読み解く。

『トットあした』

黒柳徹子/新潮社/914.6 14

向田邦子、渥美清、沢村貞子、永六輔、久米宏、飯沢匡、トモエ学園の小林校長、そして父…。黒柳徹子が大切に受け取り、励まされてきた、かけがえのない言葉たちで、新たに半生を辿り直した自叙伝。

『クロエとオオエ』

有川ひろ/講談社/F 14

宝石商の嫡男・頼任と彫金を家業とする職人の娘・彩。彩が頼任が贈ったリングを突き返してから、2人の関係は「メシ友」と「恋人」の間で謎のまま。だが…。『小説現代』掲載を書籍化。各章末に図書館利用可のQRコードあり。

『不等辺五角形』

貫井徳郎/東京創元社/F 14

避暑地の別荘に集まった幼馴染み5人のうち、ひとりが死体となって発見され、ひとりが警察に連行された。5人の間に何があったのか? 関係者の証言から展開される、息を呑む心理劇の結末は、『紙魚の手帖』連載を単行本化。

『Garden』

森越智子/童心社/F 14 青少年

父さんは、伝えたかったはずだ。8月9日、長崎で起きたことを。被爆地で生き抜いてきた父の思いと、隠し続けられたぼくの名前の秘密。やがて解き明かされる真実にたどり着いたとき、ぼくは…。

図書館のホームページで蔵書検索や本の予約ができます。

また、登録された方にはメールで新着本をお知らせする「新着案内メール」を配信しています。

※メールアドレスを変更された場合はご自身でホームページより変更手続きをお願いします。



月	火	水	木	金	土	日
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	27	28	29	30	31	

塗りつぶしの日 は 休館です。

カレンダーのないタイプで作ってみました。
 松本K・古家Kには伝えましたが、しらっとカレンダーないものを作ってみました。(*;)
 5/13 seri